

ほほえみセンターについて

質問(藤田紀夫議員)市内の高齢者の方々に大変喜ばれている施設でありますほほえみセンターの利用状況について伺います。

答弁(市長)高齢者ほほえみセンターは、高齢者の生きがい対策、閉じこもり予防、保健予防活動等を含めた介護予防事業を推進するための拠点施設で、平成十九年度末で十七カ所が開所、運営されており、また、本年四月には湯津上地区に蛭田ほほえみセン

ターが開所し、黒羽地区の川西ほほえみセンターについても、近々開所する予定となっております。平成十九年度の実績として延べ

利用人数が二万九千四百十九人、延べ開所日数が二千百三十五日となっており、一日平均十四人の利用実績となっております。また、利用実態については、各ほほえみセンターの運営について地元の管理運営委員会に委託をしてお



子供たちが安全で安心して学べる環境を整備

統合中学校の防犯対策について

質問(深澤賢市議員)統合中学校の防犯対策について伺います。

答弁(市長)統合中学校建築に当たりましての学校施設の防犯対策としては、まず施設の配置に当たり、職員室、事務室等については屋外運動場等を見渡すことができ、緊急時にも即応できる位置への配置に留意し、また給食配膳室については、サービスマチの進入頻度が高いことから、その配置や動線計画について配慮いたし

ました。不審者の侵入防止や犯罪防止等の観点から、外部からの来訪者を確認し、不審者の侵入を防ぐため、防犯カメラやインターホン等の防犯設備を門やその周辺に設置し、さらに学校の敷地境界に死角をつくらないフェンスを設置することといたしております。また、緊急事態の発生を関係者に迅速かつ的確に伝達するため、非常押しボタンを適切な場所に設置する計画でもあります。そ

の他、夜間における安全性を確保するため、門や駐車場、駐輪場、アプローチ、敷地境界、建物周囲等の適切な位置に外灯を設置するなど、敷地境界、敷地内部の防犯対策、建物の防犯対策、連絡システム等について学校施設の防犯対策を講じてまいります。学校の防犯対策を推進するためには、学校のみならず、保護者や地域の関係機関、団体等が連携して安全管理を徹底することが重要でありますので、地域のご協力を得て安全で安心な教育環境づくりに取り組んでまいりたいと思っております。

みサポーター等が日常の運営を担っております。各ほほえみセンターとも絵手紙や押し花、折り紙など趣味の講座、輪投げやラージボール卓球などの軽スポーツ、さらには食事会や誕生会などのお楽しみ会等地域の実情に応じた利用がなされております。本市においては、ほほえみセンター管理運営委員会連絡調整会議を定期的に開催し、ほほえみセンター間の情報交換を行うとともに、活動事例の紹介や意見交換などを実施し、ほほえみセンター活動全体のレベルアップを図っているところであります。



介護予防教室で賑わう金丸ほほえみセンター